

かけはし

学校と家庭とを結ぶ学年通信

明石市立江井島中学校 第2学年

～ 合言葉は「みんなでみんなを！」～

2020年 8月 6日NO. 20

文化祭クラス合唱曲決定！！

新型コロナウイルスの影響で、制約が多かった1学期。2学期の二大行事もどうなるかと心配されていましたが、「体育大会や文化祭こそは！」という先生方の熱意によって開催が決定しました。そこから、委員会の人々を中心に会議等の準備が水面下で進んでいます。

下の写真は、学級実行委員会の風景です。どのクラスも和気あいあいとした雰囲気の中で選曲されていました。

第1希望の曲に決定したかどうかはわかりませんが、何に決まっても、みんなで協力して「最高の合唱」に仕上げていきましょう。

学年合唱曲「時の旅人」は、定番中の定番！先生も、クラスや学年で何度も取り組んだ曲です。それだけに思い入れもいっぱいです。43回生の歌声を今から楽しみにしています。

1組 「時を越えて」

「この日の喜びと この日の悔しさを 忘れないように
深く胸に刻み込もう 精一杯の声を出した この瞬間が
いつかきっと君が生きていく力に変わるときが来るから」
・・・心にしみる歌詞ですね。今のみなさんにぴったりはまる
曲だと思います。頑張って歌い込んでください、



2組 「HEIWAの鐘」

沖縄発、平和を祈ったアップテンポの曲です。
「ぼくらの生まれたこの星に奇跡を起こしてみないか
拳をひろげてつなぎゆく心はひとつになれるさ」
元気いっぱいの2組にぴったりですね。



3組 「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

「なぜ僕だけがこんな目に遭うと 他人をうらやんだりもしたさ
すさんだ心に刺さったのは 意外な奴の言葉だった
も一度空を飛べるかもしれない」
3組の歌声が体育館を温かく包み込んでくれるでしょう。

1学期を振り返って

1組

5月に休校になって初めて気づいたことが2つあります。1つ目は、「あたりまえがあたりまえではない」ということです。休校になる前はっきり言って、僕は学校に行くのがいやでした。朝早く起きて準備をして、遠いところにある中学校に重い荷物を持って歩いていくのがいやでした。学校なんてなくなればいいと思っていました。だから休校になった時はうれしかったです。でも10日もたつと、これでいいのかとだんだん不安になってきました。勉強をしようにもわかりやすく教えてくれる人がいないことに気がきました。「あたりまえ」があたりまえでないことに、あたりまえに思っていた日々の尊さに

やっと気づきました。だから今の自分は休校前の自分より毎日を大切にできるようになったのではないかと思います。

もう1つは、みんなでいることの楽しさです。休校に入りたての頃は楽しかったけど、どんどん楽しくなくなっていました。早くみんなに会いたいと思うようになりました。学校は、そんなぼくとみんなをつないでくれる唯一の場所だということに気づきました。今でも早起きはしんどいし、行くのは面倒くさいです。でもこれからは、限りある毎日を大切に過ごそうと思います。



1組

もうすぐ8月になる。去年の今頃ならば夏休みに入り家で宿題の多さに頭を抱えているだろう。けれど、今年は違う。4月から7月まで普段ならば4か月は通うはずの1学期が、たった2ヶ月で終わろうとしている。悲しい気持ちはあるが、4月から5月までの休校期間中も決して無駄でなかったと私は言える。

私は、1学期を振り返って、以前の自分と比べて向上心が生まれたことが1番の成長だと思っている。1年生の頃は「マイナスにならないければ、それでいい。」とどこかで楽をしていたいなどと、己の限界を決めてしまっていた。しかし、休校期間の中、できた時間を有効活用したいと思い、今まで以上に家事や勉強に取り組み始めた。その中で、料理や勉強の楽しさを知って、6月7月の自分がいると思っている。テスト勉強においては、指にタコがえきるまで1日7時間ほど頑張り、何事にもやる気をもって1度挑戦してみることに。そして、少し手の届かないようなところに目標を立てる。そうすることで出た結果はとても嬉しくて、これからも頑張ろうという気持ちになった。1学期で知った向上心を持つ大切さをこれからも忘れず、何事にも取り組もうとする人でありたいと思う。

